2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教 員による授業科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
233122116	生徒指導論 Guidance and Counseling	山田陽平		教職	2	選択	2後期

科目の概要

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行うことも含む。本科目では、2022年に改訂された「生徒指導提要」に基づき、生徒指導の意義や生徒指導の構造、教育課程との関係、生徒指導を支える組織体制について学ぶ。また生徒指導上の各個別課題について、関連法規や対応の基本方針に照らしながら、未然防止や早期発見・対応といった観点から、指導に当たっての基本的な考え方や留意すべき事項を学ぶ。DP3「自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。」を備えた栄養教諭となるためにも、この科目に真摯に向き合ってほしい。

到達目標

① 生徒指導の意義を学ぶ。	① 生徒指導とは「いつ」「どこで」「誰が」「誰に」「何を」「何のために」行
② 生徒指導を2軸3類4層構造で捉える考え方を学ぶ。	うものかを説明することができる。
③ 学習指導(教育課程)における生徒指導を学ぶ。	② 生徒指導の2軸3類4層構造の各層の違いを説明することができる。 ③ 学習指導(教育課程)における生徒指導とは何をすることかを説明することが
④ ガイダンスとカウンセリング双方による生徒支援の重要性を学ぶ。	世間11号(秋月味性)におりる土地11号とは内ですることがで成りすることが
⑤ チーム学校による生徒指導体制を学ぶ。	(A) ガイダンスとカウンセリング双方による支援の重要性を説明することができ
⑥ 児童生徒の自己存在感を支える指導や環境構築を学ぶ。	5.
⑦ 校則・懲戒・体罰に関する主な法令の内容を学ぶ。	⑤ チーム学校による生徒指導体制の基礎的な考え方を説明することができる。 ⑥ 児童生徒の自己存在感を支える指導や環境構築を例示できる。
⑧ 暴力行為・非行・いじめ・不登校等の課題および対応を学ぶ。⑨ インターネット・性に関する課題への対応等の今日的な生徒指導上の	10 児里生使の自己存任感を又える指導や環境構築を例がてきる。 17 校則・懲戒・体罰に関する主な法令の内容を説明することができる。
課題を学ぶ。 課題を学ぶ。	8 暴力行為・非行・いじめ・不登校等の課題及び対応を説明することができる。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	⑨ インターネット・性に関する課題への対応等の今日的な生徒指導上の課題を具
● 水座 地域, 寸口外、内内区域内にり圧動り圧り力でする。	体的に挙げることができる。
	□ 家庭・地域,専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。

学生に{	発揮させる社会人基 能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
	主体性	教師になったことをイメージして考えている。
がに踏み出す	働きかけ力	
J	実行力	グループで協力して互いの理解を深め合うことを意識して行動している。
	課題発見力	次回までの課題は何であるかを考えている、わからないところを把握している。
考え抜 く力	計画力	
() 3	創造力	未経験のことでも自分のこととして考えを深めている。
	発信力	互いに意見を言いやすくなるように工夫して発言・コメントしている。
チーム で働く 力	傾聴力	グループメンバーの意見を聴いている、メモしている、テキストを読んでいる。
	柔軟性	
	 情況把握力 	
		期限までに課題を提出した。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

学修内容

テキスト:未定。教科書販売時のリストを確認して購入してください。 テキスト:生徒指導提要(改訂版)/文部科学省 2022年 文部科学省のホームページからPDFをダウンロードすることができるので書籍版の購入 は必須としない。必要な場合は書籍版を自分で購入してください。https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm オープンエデュケーション:独立行政法人教職員支援機構「校内研修シリーズ」https://www.nits.go.jp/materials/intramural/

他科目との関連、資格との関連

「生徒指導論」は教職課程の「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」に位置 づけられる。以前に学習した「教育心理学」の発達に関する知識が活用できる。本科目のカウンセリングの知識は、の後に履修する「教育相談」でさらに詳しく学習する。栄養教諭一種免許状を取得するために履修する必要がある。

学修上の助言	受講生とのルール
テキストの内容に従ってすすめます。テキストを読むことを基本とします。テキストに直接書き込んだり、図式化したりすることで理解しやすくなります。	すべての課題は授業期間中に実施します。定期試験はありません。 課題を実施するときに欠席した場合は評価点が与えられませんので 注意してください。シラバスに記載の順ですすめますが、順番等に 変更がある場合は1週間前までにクラスルームを通して連絡します。

【評価方法】

評価対象	神 評価方法		評価の 割合	到達目標		Ę	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
		筆記(レポート含む)・実 技・ロ頭試験	0	1		6		
	学期末試験			2		7		
				3		8		
				4		9		
				(5)		10		
				1	1	6	1	授業中の複数回に分けて小テストを実施する。小テストは知識の獲得が任用な思う。 これ ごれ 200/ ぜっの 取り トナス
				2	1	7	1	得と活用を問う。それぞれ30%ずつの配分とする。 知識の獲得は、生徒指導提要及びテキストの読解と記憶を確認す
		小テスト	60	3	1	8	1	る。テキストに記載の内容のみを扱う。30% 知識の活用は、学習した生徒指導上の概念や事例を分類、区別、関
				4	1	9	1	係づけることができるかを確認する。テキストに記載されていない 内容も扱う。30%
学修	平常評価			5	1	10	1	
学修成果		レポート	10	1	1	6	1	各回の授業で課す予復習課題
				2	1	7	1	
				3	1	8	1	
				4	1	9	1	
				5	1	10	1	
		成果発表(プ レゼンテー ション・作品 制作等)	20	1	1	6	1	学校現場で起こりうるケースに対して、獲得した知識を活用した問題によりない。
	Ιμη			2	1	7	1	題同定と解決提案を考えるパフォーマンステストを行う。受講者同 士で討論している様子を録画・録音し、その自然な議論の中での回
				3	1	8	1	答を評価する。20%
				4	1	9	1	
				(5)	1	10	1	
				1	1	6	1	以下の七つの観点それぞれに対して、授業中の様子や提出物で評価する。 主体性:教師になったことをイメージして考えている。
学修行動			10	2	1	7	1	実行力: グループで協力して互いの理解を深め合うことを意識して行動している。 課題発見力: 次回までの課題は何であるかを考えている, わからないところを把握
		社会人基礎力 (学修態度)		3	1	8		している。 創造力:未経験のことでも自分のこととして考えを深めている。 発信力:互いに意見を言いやすくなるように工夫して発言・コメントしている。
				4	1	9	1	発信力:互いに意見を言いやすくなるように工夫して発言・コメントしている。 傾聴力:グループメンバーの意見を聴いている,メモしている,テキストを読んで いる。
				(5)	1	10	1	規律性:期限までに課題を提出した。
 総合評価 割合		100		ı	1	1		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S評価: 平常評価において9割以上の得点率 A評価: 平常評価において8割以上の得点率	B評価: 平常評価において7割以上の得点率 C評価: 平常評価において6割以上の得点率

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション: 何が(学習目標) いのできるように、何かのないのでででででででででいる。 できる はいまれる はいまれる はいまれる 大き できる はいまれる 本 できる はいまれる 本 できる はいまれる もの はいまれる もの はいまれる もの はいまれる もの はいまれる 本 できる はいまれる 本 できる はいまれる もの はいまれる はいまな はいまる はいまれる はいまる はいまれる はいまれる はいまな はいまな はいまない はいまな はいまな はいまな はいまな はいま	講義	講義内容を聞き,復習課題を提出した。	予習: シラバスに目を 通す。(10分) 復習: 初回授業の話を ふまえて, 授業を通し で学べそうなこと とめてクラスルー 提出する。(30分)	40	主実課見創発傾規 力力力力性
2	生徒指導の基礎:意 義・2軸3類4層構造・ 方法・基盤	講義	生徒指導とは「いつ」「どこで」「何を」「何のかを説指導の2軸3類(1年)でもる。生徒指導の2軸3類(4層構造の各層の違る。とがウンセリング方による支援の重なるとができる。とができる。	予習・次回の学習範囲を予習する。 (120分):デキスト第1章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1)キーワードの入力、2)大事だと思ったところを書き写す。3)わからなかったところを書き写する。(60分):グルフォームの確認クインを実施する。正認と解説フィードバックを自動的に配信するので理解をインで、ないところを読み直す。確認と学習のは破練評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主実課見創発傾規 力力力性
3	チーム学校による生徒 指導体制	講義	チ導体制の基礎的なと 指導体制の基礎的なと 指導を説明することが できる。や関係機関と 専門家をもり方を も も も も も も と が で き る 。 や 関係 と の ま る 。 や 関 り っ と り り り っ と り り り っ と り り う る 。 と り り ら る る 。 。 と り る る 。 。 と り る 。 。 と り る 。 。 と 。 と が る 。 と 。 と 。 と ら 。 と 。 と ら 。 と ら 。 と ら 。 と ら 。 と ら 。 と ら 。 と ら 。 と ろ 。 と ろ 。 と ろ 。 と ろ 。 と ろ と ろ 。 と ろ と ろ	予習:次回の学習範囲を予習する。(120分):デキスト第3章3、1~3、4および3、7および1、4、3「家庭やウスルームへ提出する。1)・ア・ストの3点をクラカカ、2)大事だと思ったところを書き写す。。(60 たところを書き写す。(60 たところを書き写す。(60 大力・ア・ストの企業を解認する。(60 大力・ア・ストの企業を開発を確認する。(60 大力・ア・ストので理解を確認する。(60 大力・ア・ストリー・ア・ス	180	主実課見創発傾規 力力力性
4	生徒指導に関する法制度等の運用体制	講義	校則・懲戒・体罰に関する主な法令の内容を 説明することができ る。	予習:次回の学習範囲を予習する。(120分):テキストの電子第章第3章3.6および1.5.1 (20分):テキストの理解」に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1)ホーワードのア人力、2)大事だと思ったところを書き写す。3) わからなかったところを書き自分の理解を確認する。(60分):ケーグルフォームの確認サインを実施する。で理解と解説フ解でさていないまり、20分別ができている。(20分別がよりでは、20分別が、2	180	主実課見創発傾規 力力力性
5	生徒指導と教育課程	講義	学習指導(教育課程) における生徒指導とは 何をすることかを説明 することができる。	予習:次回の学習範囲を予習する。 (120分):テキスト第2章に目を通し て,次の3点をクラスルームへ提出す る。1)キーワードの入力,2)大事だ と思ったところを書き写す。3)わか らなかったところを書き写す。 復習:自分の理解を確認する。(60 分):グーグルフォームの確認クイズ を実施する。正誤&解説フィエ解ドバック クを自動的に配信するので確解クイズ は成績評価の対象ではなく自己学習の ために利用してください。	180	主実課見創発傾規 性力発 力力力性
6	小テスト:テキスト第3章までの内容について、1) 読み取れているかを確認する。2) 学習した生徒指導上の概念や事例を分類、できるがを確認する。接着では多いではる。2 大変では、1 関係がはることがで解さる。接着ないで解されて、1 大変をフィードベック状態を把する。不明な点は他者質問して解消する。	小テスト,討論	小テストの正答率が 80%以上である。	予習:これま学習 した内容(見知ない) でにストし、 でにストし、 でにストし、 で見るででは、 で見るでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	240	主実課見創発傾規 力力力性
7	いじめ	講義	いじめについて, 現 状, 法律, 基本的姿 勢, 4層構造の対応を 説明できる。	予習:次回の学習範囲を予習する。 (60分):テキスト第章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力,2) 大事だと思ったところを書き写す。3) わからなかったところを書き写する。(60分):グーグルフォームの確認クイズを実施する。正説と解説フィードバックを自動的に配信するので理解ではないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主実課見創発傾規 性力発 力力力性
8	暴力行為	講義	暴力行為について,現 状,法律,基本的姿勢,4層構造の対応を 説明できる。	予習:次回の学習範囲を予習する。(60分):テキスト第5章に目を通して、次の3点をクラスルー人出出する。1)キーワードの入力、2)大事だと思ったところを書き写す。(60分):グーグルフォームの理解を確認する。(60分):グーグルフォームの確認タイズを実施する。正説&軽説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直する(自己学習のために利用してください。	120	主実課見創造信力 力力力 力力 大大 大

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	不登校	講義	不登校について,現 状,法律,基本的姿 勢,4層構造の対応を 説明できる。	予習:次回の学習範囲を予習する。 (60分):テキスト第10章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1)キーワードの入力、2)大事だと思ったとところを書き写す。 と思ったところを書き写す。 (60分):グーグルフォームの確認タイズの実施する。正誤と解放フィードできていないところを読み直す。確認タイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主実課見創発傾規 性力発 力力力力性 動力
10	小テスト:テキスト第10章までの内容について、1) 読み取れているか、覚えているか、覚えているかを確認する。2) 学習した生徒指導上の概念や事例を分類、6 別、関係づけることがで解でいる。 アリン・アール ではいる では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	小テスト、討論	小テストの正答率が 80%以上である。	予習:これまでに学習 した内とのではいまでに学習 となる。(180分) 復習:小テストで間の 復習:小テストで間内 をまとこめて をまととなる。 (60分)	240	主実課見創発傾規 力力力力性
11	インターネットに関わる問題	講義	インターネットに関わる問題について,現状,法律,基本的姿勢,4層構造の対応を説明できる。	予習: 次回の学習範囲を予習する。 (60分): テキスト第11章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力、2) 大事だと思ったところを書き写す。3) わからなかったところを書き写す。(60分): グーグルフォムの確認クイズを実施する。で理解を確立ので理解ではなど、変更がいる。ではないました。ではないました。ではないまないないところを読みではなく自己学習のために利用してください。	120	主実課見創発傾規 力力力力性
12	性に関する課題	講義	性に関する課題について、現状、法律、基本的姿勢、4層構造の対応を説明できる。	予習・次回の学習不大ト第129目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。(60分):テオスト第129目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1)キーワードの入力、2)大事だと思ったとところをききらすう。(60分):グルフを書ききは事がで理解である。(60分):グルフがルフォームの確認りインを実施する。では、2000で理解でする。正説と外ので理解でする。正説と外ので理解でする。正説と外ので理解でする。正説と外ので理解でする。正説と外ので理解でする。正説と外ので理解でする。正説と外ので理解でする。は成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	120	主実課見創発傾規 力力力力性
13	児童生徒の居場所づく りと安全・安心な学校 環境	講義	児童生徒の自己存在感 を支える指導や環境構 築を例示できる。	予習:次回の学習範囲を予箇所または(60分):テキストの指定箇所または配付資料に目を通して、次の3点をクラスルカー2、大事だと思ったとところを書き写す。3)わからなかったとところを書き写す。3)わからなかったとところを書き写す。4)の理解を確認する。(60分):グーグルフォームの確認/イズックを自動的に配信まするので理解でイズックを自動的に配信まするので確認クイズックを自動のと記述をではなるでは、ところを読み直するので確認クイズのよいといると、表述のでは、自己学習のために利用してください。	120	主実課見創発傾規性力発 力力力大性
14	総括テスト・パフォーマンステスト:提示するケースに対して課題を同定し,解決策を考える。	テスト、討論	テストの正答率が80% 以上である。提示する ケースに対して課題を 同定し解決策を考える ことができる。	事前:これまでに学習 した内容 (テキストや ノート) を見なおして 復習する。 (180分) 事後:討論の内容をま とめてクラスルーム 提出する。 (60分)	240	主実課見創発傾規 カカカカ
15	授業のまとめ・補足・フィードバック	オンデマンド配信	授業を通して学べたこと、学びきれていないことをまとめることができる。	事前:これまでに学習した 内容(テキストやノート) を見なおして復習する。 (60分) 事後:配信動画の視聴をふ まえて,学びされていない ことをまとめてクラスルー ムへ提出する。(60分)	120	主実課見創発傾規 体行題力造信聴律 性力発 力力力力性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力